

2021年度 事業報告書

1. 総論

2020年の年明け以降全世界で拡大した新型コロナウイルス感染症は未だ収束の見通しがつかず、2021年度も年間を通して日常生活や経済活動に大きな影響が及びました。当工業会もその影響を受けましたが、WEBセミナーやWEB会議の活用等により①厨房設備通信教育ならびに厨房設備士資格認定制度の運営による技術者の育成②厨房設備機器展の開催③安全衛生の確保・災害防止を目的とした業務用厨房機器の標準化④統計資料の提供⑤月刊広報誌「厨房」の発刊等の主要事業を平常時と同じ内容で行ってまいりました。

感染症予防のため2020年度は2級のみ実施した厨房設備士資格認定試験ですが、本年度は7月14日（水）に従来どおり1級・2級の試験を実施いたしました。試験の結果、本年度は1級14名（合格率23%）、2級135名（合格率70%）が合格し、厨房設備士の仲間入りを果たしました。

第42回となる厨房設備通信教育については、上級コース・初級コースに分けて開催しておりましたプログラムを本年度より一本化して開講することといたしました。2021年4月から2022年3月までの1年間にわたり163名が受講し、126名（修了率77%、内優秀修了者94名）がコースを修了しました。優秀修了者94名は2級厨房設備士資格認定試験が免除されます。

資格認定試験、通信教育での厨房設備士合格者には、各企業ならびに業界でのさらなる活躍が期待されます。

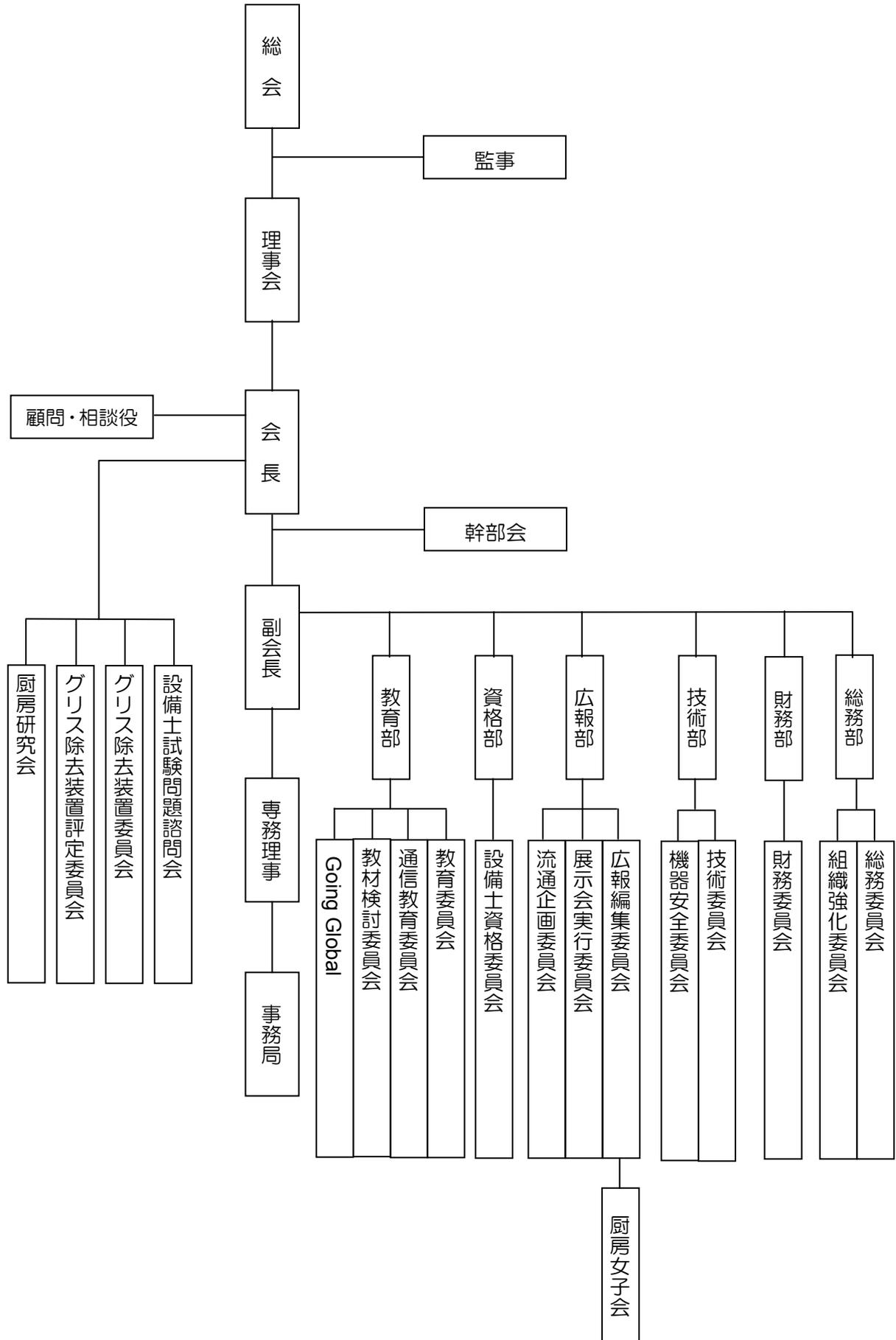
厨房設備士資格保持者を主な対象としたフォローアップ研修会については、2019年度より毎年HACCPに関する講義をお願いしている一般社団法人日本HACCPトレーニングセンター杉浦氏に引き続き講師をお願いし、「小規模な一般飲食店の衛生管理計画～明日からはじめる法令遵守～」をテーマにWEBでのセミナーを行っていただきました。2021年11月12日（金）より1ヶ月の間に、視聴サイトを通じて49社・73アカウント（1アカウントで受講できる人数に上限はなし）の受講をいただきました。

当工業会にて定めている「業務用厨房設備機器基準」への対象機器適合確認作業を行う自主検査員の養成講習会については、2022年3月10日（木）に昨年度に引き続きWEBセミナー形式で開催し、会員企業より31名が受講しました。これにより、自主検査員の総数は256名（2022年3月末）となりました。

2022年2月15日（火）から2月18日（金）にかけて開催した第22回厨房設備機器展は、3年ぶりに東京ビッグサイト東展示棟での開催となりました。前回に引き続き「新しい日常を支える ニッポン厨房最前線」のテーマのもと、会員企業55社（対前回4社増）が業務用厨房における関心事であるHACCP対応・省力化非接触化・感染症対応等への対策を盛り込んだ展示を繰り広げました。感染症に伴う緊急事態宣言発令下での開催となった前回に対し、今回もまん延防止等重点措置が発令される中での開催となりましたが、展示会全体の来場者数は28,328名となり、前回に比べて17%増加しました。会期中に開催された工業会主催セミナーについても、会員企業10社がお客さまの事業課題解決に役立つテーマにて講演を行いました。セミナー参加者数は前回より18%減の389名となりました。

世界各地での新型コロナウイルス感染症のまん延やウクライナ紛争の影響により部品供給の逼迫や原材料の高騰に拍車がかかっており、業務用厨房業界も引き続き厳しい状況が続くことが懸念されますが、日本厨房工業会は、今後も各種事業を推進し、食文化の発展と業界の繁栄に貢献できるよう努めてまいります。

2. 会務運営機構



3. 事業の内容

◆総務部関係事項

【総会】

- 第 55 回定時総会 2021 年 6 月 16 日（水） 厨房機器会館会議室
第 1 号議案 2020 年度事業報告及び収支決算の承認の件
第 2 号議案 2021 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認の件
第 3 号議案 第 29 期理事の選任の承認の件

【理事会】

- (1) 第 1 回 2021 年 5 月 12 日（水） WEB 会議

◎審議事項

- 第 1 号議案 2020 年度事業報告及び収支決算に関する件
第 2 号議案 2021 年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件
第 3 号議案 第 29 期理事候補者の最終確認に関する件
第 4 号議案 内閣府への提出書類と手続きに関する件
第 5 号議案 常勤役員の報酬の承認に関する件

◎協議事項

- ・ 関連団体事業の協賛について
- ・ 委員会の構成(案)について
- ・ 第 55 回定時総会と 2021 年度第 2 回理事会の開催について
- ・ 総会記念ギフトの送付について
- ・ 2021 年度第 3 回理事会の開催について
- ・ 2022 年新年賀詞交歓会について

- (2) 第 2 回 2021 年 6 月 16 日（水） 厨房機器会館会議室（WEB 会議併用）

◎審議事項

- 第 1 号議案 次期会長、副会長、専務理事、顧問、相談役の選任に関する件
第 2 号議案 会務運営機構と委員会の構成に関する件

- (3) 第 3 回 2021 年 10 月 13 日（水） WEB 会議

◎審議事項

- 第 1 号議案 新規加入申込と退会会員に関する件

◎協議事項

- ・ 関連団体事業の協賛について
- ・ 2022 年（令和 4 年）新年賀詞交歓会の開催について
- ・ 第 56 回定時総会と 60 周年記念式典の開催について
- ・ 2021 年度第 4 回理事会の開催について

(4) 第4回 2022年3月16日(水) WEB会議

◎審議事項

第1号議案 新規加入申込と退会会員に関する件

◎協議事項

- ・関連団体事業の協賛について
- ・2022年(令和4年)新年賀詞交歓会の開催について
- ・当工業会規程について
- ・関東厨房機器協同組合の業務(生命共済)の引継ぎについて
- ・2022年度事業計画(案)について
- ・2022年度第1回理事会の開催について
- ・第56回定時総会と60周年記念式典の開催について

【幹部会】

- (1) 第1回 2021年4月21日(水) WEB会議
(2) 臨時 2021年7月7日(水) WEB会議
(3) 第2回 2021年10月6日(水) WEB会議
(4) 第3回 2022年3月9日(水) WEB会議

【総務委員会】

- (1) 第1回 2021年4月8日(木) WEB会議
(2) 第2回 2021年9月28日(火) WEB会議
(3) 第3回 2022年3月2日(水) WEB会議

【新春賀詞交歓会】

新型コロナウイルスの感染拡大にて中止とし、月刊「厨房」誌上で賀詞交歓会の誌上開催という形をとり、谷口会長並びに関係官庁からの新年のメッセージを発信した。

【組織強化委員会】

- (1) 第1回 2021年10月13日(水) WEB会議
・組織強化委員会委員長の選任について
・各支部の活動について

◆財務部関係事項

【財務委員会】

- (1) 第1回 2021年4月22日(木) 書面審議
・2020年度における収支決算について
・2021年度における収支予算(案)について

【監事会】

- (1) 第1回 2021年4月28日(水) 書面審議
・2020年度事業報告及び収支決算に関する監査の件

◆技術部関係事項

【技術・機器安全合同委員会】

- (1) 第1回 2021年6月23日(水) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)
 - ・技術・機器安全委員会委員長の選任
 - ・公共建築工事標準仕様書令和4年版改定一次案について
 - ・スチームコンベクションオーブンにおけるグリス除去装置との離隔距離について
 - ・「消毒器」「殺菌庫」等、菌等の抑制に関する用語および試験基準について
 - ・その他について

- (2) 第2回 2022年2月3日(木) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)
 - ・2021年度自主検査員講習会開催について
 - ・【JGA】標準仕様書におけるオーブンレンジ(こんろ部)の立ち消え安全装置義務化記載について
 - ・【JIA】業務用ガス燃焼機器の安全性向上対策に係る調査研究事業について
 - ・スチームコンベクションオーブンにおけるグリス除去装置との離隔距離について
 - ・業務用衛生機器に関わる用語および基準等を検討するWGの経過報告

【スチームコンベクションオーブンにおけるグリス除去装置との離隔距離について】

スチームコンベクションオーブンの設置時にオーブンの排気口(火源)とグリス除去装置の離隔距離の解釈について消防局との間に問題が多く発生している件について、2021年度第1回技術委員会にて議題に上がり、解決に向けて東京消防庁および総務省消防庁へ相談に伺った。

工業会提案による火災予防条例通知の変更を基に話し合いが進められ、通知文の読み替えも含め、前向きに検討いただけることとなった。

関係各社よりオーブン温度確認試験を依頼しており、問題解決に向け次年度も引き続き検討される。

【業務用厨房機器における「菌等」の抑制に関する用語の使用基準、それに類する試験方法および判定基準について検討を行うWG】

- (1) 第1回 2021年11月8日(月) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)
- (2) 第2回 2022年1月19日(水) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)

コロナウイルスの感染拡大を受けて殺菌や消毒に対して世間が敏感になっている中、会員各社で製造されている業務用厨房衛生機器において、包丁まな板殺菌庫、食器消毒保管庫など、衛生に関する用語が統一性の無い解釈のまま使用されている現状がある。

家庭用品については全国家庭電気製品公正取引協議会の製造業表示規約において、明確な使用基準が規定されているが、業務用機器には適用されるものではない。

また同様に、衛生に関わる性能試験においても業界基準などは無く、各社それぞれの判断で運用がなされている。

この件については、2021年度第1回技術委員会にて議題に上がり、WGを立ち上げて検討を進めることとなった。

株式会社A I H O、日本調理機株式会社、株式会社マルゼン、株式会社中西製作所、ホシザキ株式会社、ニチワ電機株式会社、タニコー株式会社の7社にて構成され、メンバー各社の見解や運用方法を基に意見交換を行い検討が進められている。

【J F E A 業務用厨房設備機器基準適合確認自主検査員講習会】

昨年度に引き続き、Z o o mを使用したWEB配信を採用し実施した。

- (1) 2022年3月10日(木)
 - ・受講者数 : 31名
- (2) 登録状況(2022年3月)
 - ・自主検査員 : 256名

【J F E A 業務用厨房設備機器基準登録】

- (1) 登録状況(2022年3月)
 - 会社数 : 8社
 - 親型式 : 99機種
 - 子型式 : 2,608機種

【中小企業等経営強化法に係る固定資産税の軽減】

- ・2021年度証明書発行件数 1,464件

◆広報部関係事項

【広報編集委員会】

- (1) 第1回 2021年9月22日(水) 厨房機器会館会議室(WEB会議併用)
 - ・新任広報編集委員会委員について
 - ・2020年度第2回広報編集委員会報告について
 - ・月刊厨房アンケート結果について
 - ・月刊厨房表紙について
 - ・厨房女子会について
 - ・その他について
 - ・2022年新春対談について
 - ・月刊『厨房』連載内容について
 - ・広報編集委員における各支部(地方編集委員)への協力体制について
 - ・その他について
- (2) 第2回 2022年3月30日(水) WEB会議
 - ・2021年度第1回広報編集委員会報告について
 - ・2022年新春対談について
 - ・その他について
 - ・月刊『厨房』連載内容について
 - ・月刊厨房連載の転載などのルールについて
 - ・厨房女子会について
 - ・2023年新春対談について
 - ・月刊厨房表紙について
 - ・ホームページのリニューアルについて
 - ・広報編集委員における各支部(地方編集委員)への協力体制について
 - ・その他について

【月刊『厨房』の発行】

- ・厨房設備機器展を出展者・来場者へアピールする記事を7月号～2月号にかけて掲載し、機器展直前の2月号では工業会主催の各種セミナーの詳細を掲載し、来場者増加への支援を強化した誌面作りを行った。
- ・厨房業界向け連載企画として宮城大学 堀田宗徳准教授（当時）の連載、スタジオワーク合同会社 上田和久氏の連載、会員企業コネクテッドロボティクス株式会社による厨房ロボット連載を掲載した他、広く一般を対象とした連載企画として、株式会社トータルフード 小倉朋子氏、斉田育秀氏のエッセイを掲載した。
2021年度はSDGsについての連載記事に力を入れ、会員企業による取り組みや一般社団法人日本フードビジネスコンサルタント協会による啓発記事を掲載した。
また、坂月さかな氏（第25回文化庁メディア芸術祭マンガ部門審査委員会推薦作品選出）によるイラスト小説の他、にしかわたく氏による会員企業等の訪問漫画については、関西支部の出張取材と、当工業会の事業を紹介する記事作成を行った。
- ・新春対談に公益社団法人日本メディカル給食協会 山本裕康会長を招聘し、対談を行った。

【『2021年度版会員名簿』の発行】

『2021年度版会員名簿』を2021年9月に600部発行した。

【ホームページによる広報活動】

各種出版物の告知、厨房設備機器展、厨房設備士受験・通信教育の申込などの告知を行ったほか、官公庁からの告知要請に基づいた公告活動に協力を行った。

【厨房女子会】

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の開催は中止となった。

【展示会実行委員会】

(1) 第1回 2021年8月20日（金） 厨房機器会館会議室（WEB会議併用）

- ・2020年度第3回展示会実行委員会の審議内容の確認について
- ・日本能率協会に対する確認及び提案事項の回答について
- ・来場動員グランプリの結果について
- ・日本厨房工業会主催セミナーのアーカイブ配信の状況について
- ・2021年度第1回企画委員会の報告について
- ・HCJ2021の招待券別入場者数の内訳について
- ・第21回厨房設備機器展のテーマについて
- ・日本厨房工業会ブース企画について
- ・日本厨房工業会主催セミナーについて
- ・今後のスケジュールについて

(2) 第2回 2021年12月15日(水) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)

- ・2021年度第1回展示会実行委員会の審議内容の確認について
- ・2021年度第2回企画委員会の報告について
- ・第22回厨房設備機器展の出展申込状況と出展会員企業について
- ・印刷物について
- ・日本厨房工業会主催セミナーについて
- ・日本厨房工業会ブースについて
- ・工業会案内パネルの展示について
- ・会員コンシェルジュおよび入会案内・説明コーナーについて
- ・広報・周知について
- ・図書、案内等の展示及び配布について(予定)
- ・日刊工業新聞の特集記事の企画について
- ・日本エレクトロヒートセンターの展示協力について

(3) 第3回 2022年3月17日(木) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)

- ・2021年度第2回展示会実行委員会の審議内容の確認について
- ・第22回厨房設備機器展の結果報告について
- ・日本厨房工業会ブースについて
- ・日本厨房工業会主催セミナーの開催結果について
- ・バーチャル展示会でのセミナーのアーカイブ配信について
- ・バスの運行結果について
- ・第22回厨房設備機器展に対する各委員の意見について
- ・第22回厨房設備機器展収支と次回予算(案)について
- ・第23回厨房設備機器展について
- ・第23回厨房設備機器展工業会ブース企画案について
- ・第23回厨房設備機器展・日本厨房工業会セミナー企画案について

【第22回厨房設備機器展】

- (1) テーマ : 「新しい日常を支える ニッポン厨房最前線」
- (2) 会期 : 2022年2月15日(火)～2月18日(金)
- (3) 会場 : 東京ビッグサイト 東展示棟1～6ホール
- (4) 出展社数 : [HCJ] 650社(前回 556社) 1,582小間(前回 1,323小間)
[会員] 55社(前回 51社) 468小間(前回 388小間)
- (5) 来場者数 : 28,328名(前回 24,196名)
- (6) 工業会ブース企画
 - ・厨房設備士資格認定試験案内
 - ・工業会案内パネルの展示
 - ・厨房女子会活動紹介
 - ・広報・周知(火災注意喚起、COに対する注意喚起、HACCP、補助金等)
 - ・衛生設備機器・省人化設備のカタログ紹介
 - ・会員コンシェルジュ
 - ・会員入会説明コーナー
 - ・書籍の配布
 - ・60周年記念パネル

(7) 日本厨房工業会主催セミナー

テーマ：「新しい日常を支える ニッポン厨房最前線」

開催日：2022年2月15日（火）～2月18日（金）

実施企業：コネクテッドロボティクス(株)、(株)コメットカトウ、タニコー(株)、ニチワ電機(株)、
(一社)日本エレクトロヒートセンター、(株)ハイサーブウエノ、服部工業(株)、フ
クシマガリレイ(株)、(株)フジマック、(株)マルゼン

出席者数：389名（前回 475名）

(8) 日本能率協会のバーチャル展示会への出展と主催セミナーのアーカイブ配信等について

日本能率協会のWEB上で開催されているバーチャル展示会に、厨房設備機器展に出展した当工業会会員企業が参加するとともに、厨房設備機器展における日本厨房工業会主催セミナーのアーカイブ配信を実施予定。

また、会員企業は自社のホームページ等においても独自に厨房設備機器展における出展内容のアーカイブ配信等を実施している。

【流通企画委員会】

(1) 第1回 2021年7月29日（木） 厨房機器会館会議室

- ・実態調査実施スケジュールについて

(2) 第2回 2021年11月10日（水） 厨房機器会館会議室

- ・2021年実態調査報告書（案）について

【2021年版業務用厨房機器に関する実態調査】

- ・調査対象企業：会員企業219社・会員外企業79社
- ・調査実施期間：2021年8月20日～9月21日
- ・調査方法：アンケートによる自記式、メール回収法方式
- ・調査票回収状況：会員企業163社・会員外企業33社
- ・報告書発送日：2021年12月7日

◆資格部関係事項

【設備士資格委員会】

(1) 第1回 2021年4月6日（火） 厨房機器会館会議室（WEB会議併用）

- ・2021年度厨房設備士資格認定試験の実施計画について
- ・2021年度厨房設備士資格認定試験の問題作成について
- ・2021年度厨房設備士試験関係スケジュール（案）について

(2) 第2回 2021年5月13日（木） 厨房機器会館会議室

- ・2021年度厨房設備士資格認定試験問題作成について

(3) 第3回 2021年8月3日（火） 厨房機器会館会議室

- ・2021年度厨房設備士資格認定試験解答結果の採点（1級図面問題）について

(4) 第4回 2021年9月9日（木） 厨房機器会館会議室（WEB会議併用）

- ・次年度以降の講習会について

【2021 年度厨房設備士資格認定試験の実施】

- ・受験申請 : 2021 年 4 月 12 日 (月) ~ 4 月 28 日 (水)
- ・受験講習会 : 2021 年 6 月 21 日 (月) ~ 6 月 28 日 (月) 午前 9 時
- ・試験日 : 2021 年 7 月 14 日 (水)
- ・合格発表 : 2021 年 8 月 13 日 (金)

[2021 年度 厨房設備士資格認定試験 実施状況]

実施地区	申込者数			受験者数			合格者数			合格率		
	1級	2級	合計	1級	2級	合計	1級	2級	合計	1級	2級	合計
札幌	1	12	13	1	11	12	0	9	9	0.0%	81.8%	75.0%
仙台	5	17	22	5	16	21	0	11	11	0.0%	68.8%	52.4%
東京	33	83	116	29	76	105	5	51	56	17.2%	67.1%	53.3%
名古屋	3	8	11	3	7	10	0	3	3	0.0%	42.9%	30.0%
大阪	8	31	39	8	29	37	4	18	22	50.0%	62.1%	59.5%
広島	4	9	13	4	8	12	1	7	8	25.0%	87.5%	66.7%
高松	2	20	22	2	19	21	0	19	19	0.0%	100.0%	90.5%
福岡	8	31	39	8	28	36	4	17	21	50.0%	60.7%	58.3%
合計	64	211	275	60	194	254	14	135	149	23.3%	69.6%	58.7%

※上記合格者以外に、通信教育成績優秀者 93 名に対し 2 級厨房設備士資格を交付。

【技能検定への協力】

- (1) 中央職業能力開発協会に中央技能検定委員を派遣し、検定試験問題の作成に協力した。
- (2) 全国 7 会場にて講習会を実施した。
- (3) 各都道府県の職業能力開発協会からの依頼を受け、実技試験における検定員及び検定補佐員の派遣を行った。
- (4) 模擬厨房用電気機器を使用した実技試験について、当該機器の製造及び販売を行い、全国 2 地区に供給した。

◆教育部関係事項

【通信教育委員会】

- (1) 第 1 回 2021 年 10 月 21 日 (木) 厨房機器会館会議室 (WEB 会議併用)
 - ・第 42 回スクーリング実施について
 - ・第 43 回通信教育開講について
 - ・第 43 回レポート問題の統一見解及び執筆分担について
- (2) 第 2 回 2021 年 12 月 2 日 (木) 厨房機器会館会議室 (WEB 会議併用)
 - ・第 42 回スクーリング問題検討について
 - ・第 42 回スクーリング作図指導について
 - ・第 42 回スクーリング実施方式について
 - ・第 43 回通信教育レポート問題検討について

(3) 第3回 2022年3月3日(木) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)

- ・第43回スクーリング実施について
- ・第42回スクーリング設計実技試験問題採点について
- ・第42回スクーリング実施結果について
- ・第43回通信教育レポート問題検討について
- ・2022年度厨房レイアウト作成未経験者向け講習会について

【第42回厨房設備通信教育の実施】

新入社員の方、「厨房設備士」の資格取得を目指す方、「厨房設備士」は取得済だが業務用厨房に関する知識・技能の向上を再度図りたい方を対象に、2021年4月から翌年3月までの1年間にわたり厨房設備通信教育を実施した。受講者数は163名であった。

また、2022年2月2日、3日の両日に東京、名古屋、大阪、福岡の4会場でスクーリングを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、郵送での実施に変更となった。

3月3日開催の第3回通信教育委員会において、厳正なる審査の結果、修了者は、126名、優秀修了者は、94名(うち有資格者1名)となった。

なお、修了者には修了証、優秀修了者(2級厨房設備士資格認定試験免除者)には修了証、合格通知、2級厨房設備士登録関係書類を送付した。

【厨房レイアウト作成未経験者向け講習会の実施】

2021年10月14日に東京会場にて厨房レイアウト作成未経験者向け講習会を実施し、通信教育受講者のうち23名が受講した。

【教育委員会】

(1) 第1回 2021年4月20日(火) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)

- ・2020年度HACCPオンラインセミナーについて
- ・2021年度厨房設備フォローアップ研修会の開催について

(2) 第2回 2021年9月1日(水) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)

- ・2021年度厨房設備フォローアップ研修会資料について

【研修会実施内容】

[テーマ] 「小規模な一般飲食店の衛生管理計画 ～明日からはじめる法令遵守～」

[講師] 一般社団法人 日本HACCPトレーニングセンター専務理事 杉浦 嘉彦氏

[内容] すぐ実践可能な簡易アプローチ、小規模飲食のリスクタイプ(重要な6つの要件)、東京都衛生管理ファイル解説、メニュー分類、手引書に書かれていない必須の衛生管理項目、新・施設基準への対応等について(約1時間)

[会場] 食×農MOOC内 <https://shokunou-mooc.gigasta.jp/>

[視聴可能期間] 2021年11月12日(金)～12月11日(土)

※ 期間内ならば、好きな時に何度でも視聴可能。

※ 1つのアカウントで視聴できる人数に制限はないが、1つのアカウントで同時に複数の端末からは視聴できない。

[アカウント申込者数] 73人(49社)

【教材検討委員会】

- (1) 第1回 2021年10月5日(火) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)
・改訂にあたっての注意点
・工学入門第9版 内容検討
- (2) 第2回 2021年12月17日(金) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)
・工学入門第9版 内容検討

◆特別部会関係事項

【設備士試験問題諮問会】

- (1) 第1回 2021年5月20日(木) 厨房機器会館会議室(WE B会議併用)
・2021年度厨房設備士資格認定試験問題について

【 그리스除去装置評定委員会】

- (1) 第1回 2021年5月11日(火) WEB会議
(2) 第2回 2021年8月24日(火) WEB会議
(3) 第3回 2021年10月19日(火) WEB会議
(4) 第4回 2021年12月6日(月) WEB会議
(5) 第5回 2022年2月7日(月) WEB会議

- ・「業務用厨房設備に付属する 그리스除去装置の技術基準」に基づき、 그리스フィルター、 그리스エクストラクター及び 그리스セパレーターの性能テストを実施した。結果等を勘案し、 그리스除去装置の認定の可否を行った。基準に適合したものについては、月刊「厨房」誌に掲載のう え周知に努めた。

[그리스除去装置認定ラベル過去の交付状況と前年度比]

2009年度	: 147,150枚
2010年度	: 171,210枚(116%)
2011年度	: 163,550枚(96%)
2012年度	: 186,820枚(114%)
2013年度	: 207,240枚(110%)
2014年度	: 220,050枚(106%)
2015年度	: 213,130枚(97%)
2016年度	: 180,600枚(85%)
2017年度	: 218,180枚(121%)
2018年度	: 187,500枚(86%)
2019年度	: 182,600枚(97%)
2020年度	: 131,800枚(72%)
2021年度	: 137,800枚(105%)